

10期 アクティブシニアをめざす科

～そして生きがい再発見～

日時：9月15日（木）10時～12時

場所：豊中市地域共生センター

テーマ：「身近な介護保険の使い方」

豊中市の取り組み

講師：豊中市長寿社会政策課

図師さん 佐飛さん



○介護・福祉を取り巻く現状と課題

豊中市は2021年より、高齢者や障害者、子どもらの「地域共生社会の実現」を目指す事業計画を始め、さまざまな困りごとが「他人事」ではなく、「我が事」と考える地域づくりに取り組んでいる。

○第一の柱は、人生100年時代を見すえた生涯現役社会の実現をみすえて、介護予防や健康づくり、地域活動への参加促進、第二の柱は、一人ひとりの状況に応じた支援、とくに、認知症の予防、認知症の人と介護者への支援の充実を進める。

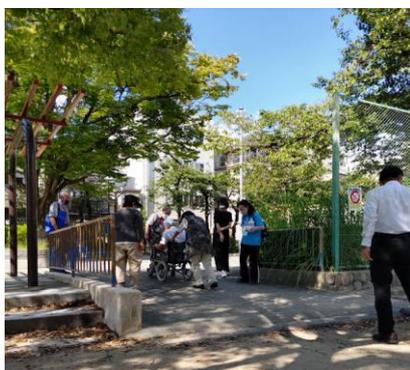
○要介護から要支援まで、介護保険の仕組みや申請方法を詳しく説明していただきました。

→住み慣れた地域の中で尊厳が守られ自分らしく暮らし続けることができる社会を目指す。築43年720戸数のマンションに住んでいますが、高齢者が増え、一人暮らしの人が増えました。行政だけに頼るのではなく住民のつながりが大切だと思いました。

《午後の活動報告》

・授業の振り返り

住んでいる地域、建物によって（マンション、新しいマンション、一戸建てなど）、長く住んでもコミュニケーションに違いがある事がわかりました。



二人一組になって車いすに乗ったり、押したり体験しました

車いす体験

車いすの種類や、段差の越え方やスロープの降り方などの説明を受け、実際に近くの公園に出て、全員が乗り方と介護する方の体験をしました。

→体験したことで乗る方の気持ち、介助する時に気を付ける事などたいへん参考になりました。



(担当 田中泰子)